

# 群馬県生活交通導入実証検証事業

## 第33回総合的交通基盤整備連絡会議



平成24年5月31日 群馬県県土整備部交通政策課

# 群馬県乗合バスの推移（輸送人員・車両数・系統数）

- 乗合バスの輸送人員は、昭和40年の1億4,757万人から平成22年には847万人と約17分の1に激減
- 県民一人あたり年間乗車回数は、91.9回から4.2回と約22分の1に激減

- ◆車両数は、1,168台から531台と約2分の1に減少
- ◆1車両あたりの輸送人員は、34.6人/回から4.4人/回に激減

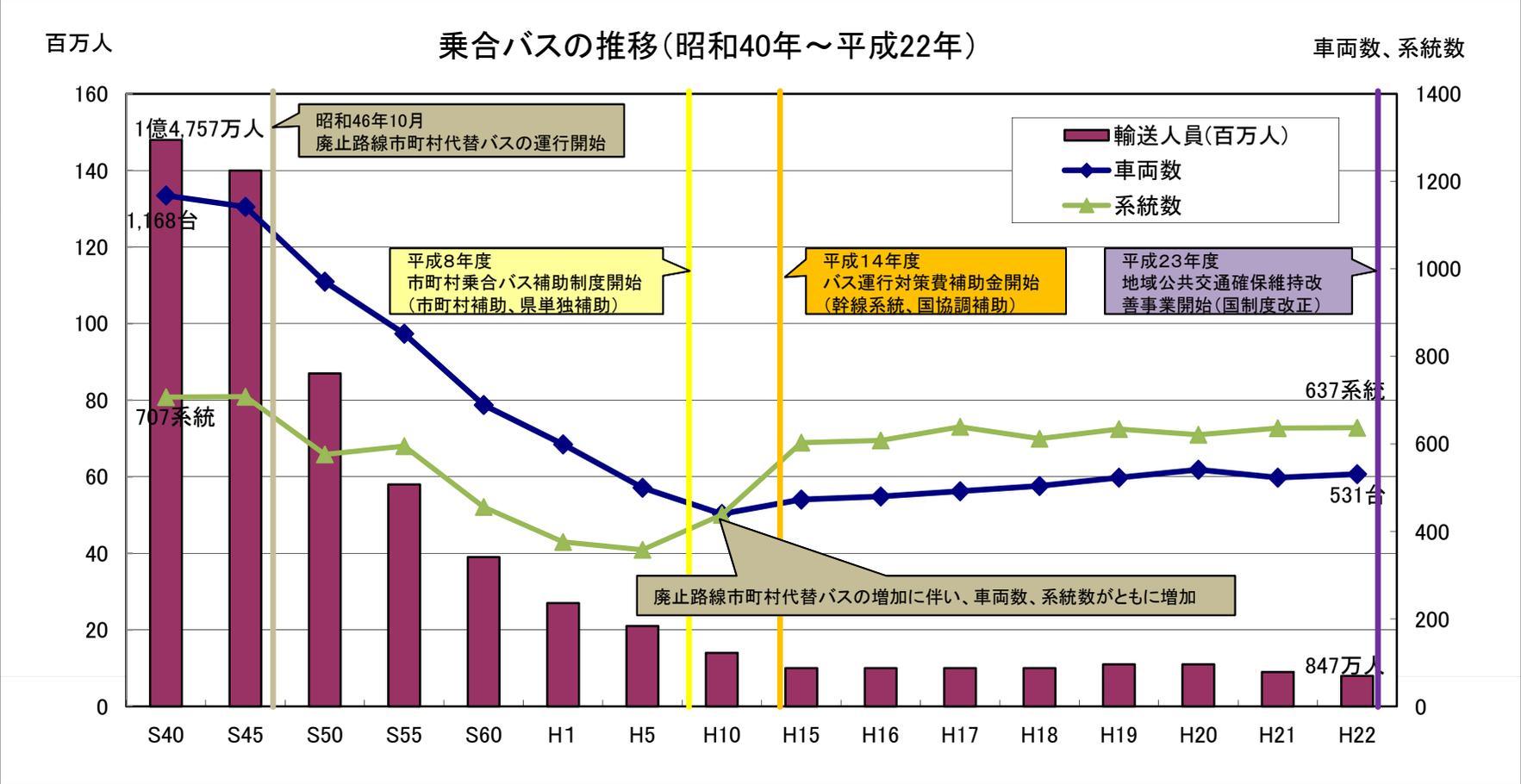


- ◆車両の見直し(小型化等)

- ▲系統数は、707系統から637系統と約1割の減少
- ▲1系統あたりの輸送人員は、57.2人/回から3.6人/回に激減



- ▲運行の見直し(デマンド化等)



# 群馬県乗合バスの現状と課題

## 群馬県乗合バスの現状

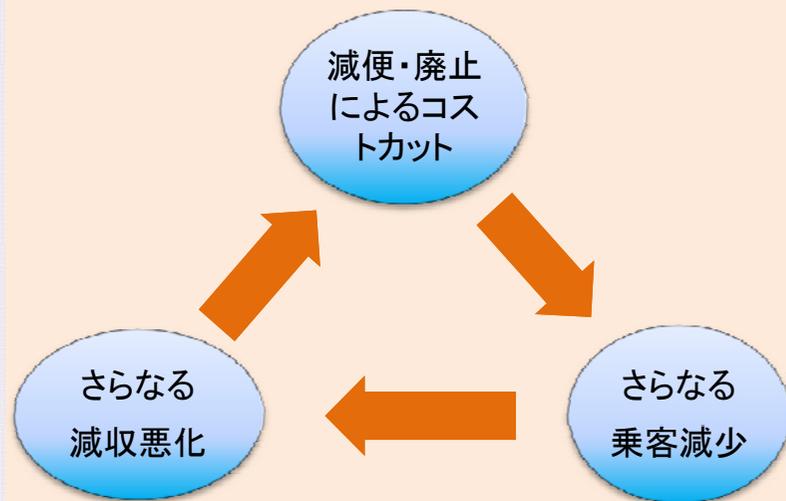
- ・利用者の減少により、補助金なしには乗合バスを維持できない状況
- ・人口減少及び過疎化により、乗合バスの収支が悪化し、自治体の財政負担が増大
- ・定時定路線の乗合バスに対する「空気を運んでいる」との批判
- ・マイカーの使用を前提とした拡散型都市構造のため、駅の拠点性が低い
- ・路線バス等駅から目的地までの2次交通が発達していない

## 地域公共交通の必要性

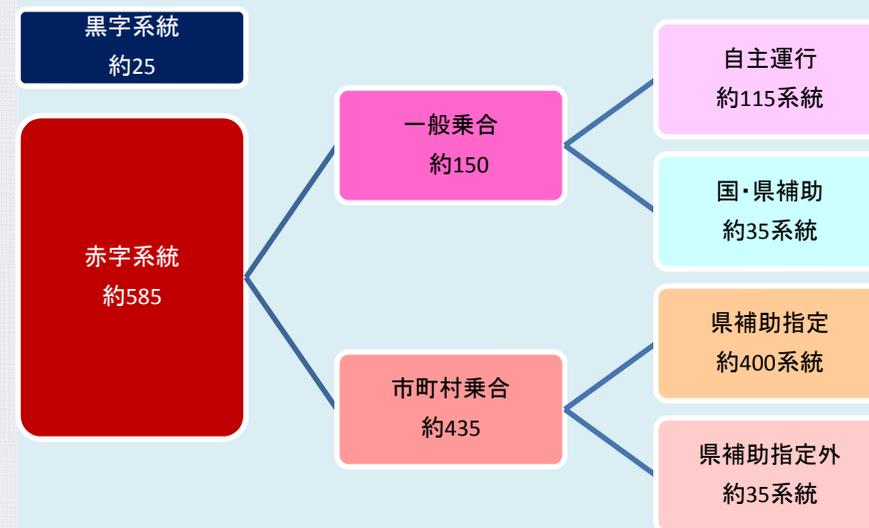
- ・高齢者や高校生など交通弱者の移動の自由を確保
- ・交通渋滞を解消し都市機能を充実させる社会資本
- ・マイカー利用を抑え交通事故を防止
- ・地球温暖化の防止



## 乗合バスにおける負の連鎖



## 乗合バスの収支分類



# 群馬県内市町村の乗合バス見直し検討状況

## 利根沼田地域

- みなかみ町：町内使用に限定した割引バスカードの導入

## 吾妻地域

- 嬭恋村：スクールバスへの高校生の乗車

## 西部地域

- 下仁田町：スクールバスと路線バス「しもにたバス」の併用
- 安中市：18号線南地域でデマンドバスを実証運行
- 藤岡市：小型バスからタクシー車両への変更

## 東部地域

- 桐生市：新里地区で定時定路線による乗合バスを廃止し、タクシー車両によるデマンド乗合タクシーを導入
- 太田市：高齢者(75歳以上)等の利用登録者を対象とする無料の「おうかがい市バス」を、65歳以上、100円/回に見直し

## 中部地域

- 前橋市：富士見地区の「るんるんバス」をデマンド化、全域デマンドタクシーの検討
- 渋川市：車両の削減、運行系統の統廃合と循環路線への変更



# 生活交通導入実証検証事業の概要

## 市町村乗合バス補助金の概要

- ・市町村乗合バスの運行及び車両購入に要する費用を、市町村に補助
- ・車両の大きさに応じて定めた収支率を2年続けて下回った場合、補助停止
- ・乗合バス(定員11名以上):収支率20%
- ・乗合タクシー(定員10名以下):収支率10%

## 市町村乗合バスの現状



- 乗客数は△20.5%減少
- 収支率は△3.4%減少
- 補助停止路線は増加傾向で、138路線中39路線(28%)が補助停止

## 生活交通導入実証検証事業(24年度)

### ○趣旨

本県の需要や地域性に合った「ぐんまらしい」効率的な乗合バスのあり方を検証し、市町村における地域の需要に応じた効率的な運行方法の新たな導入と既設の乗合バス運行の見直しを促し、地域における生活交通の安定的な継続を図る

### ○内容

市町村が行う乗合バスの効率的な運行(デマンド型交通など)の実証運行に要する経費に対し補助を行うとともに、県として現場に即したデータを収集し、持続的な生活交通導入のための手引きを作成する

### ○補助対象事業(実証運行例)

- ①デマンド型交通の導入
- ②スクールバスの活用

### ○事業概要

- ①運行計画の策定支援(県からの支援)
- ②実証運行の運行支援(県からの支援)
- ③手引き書の作成(県と市町村の連携)

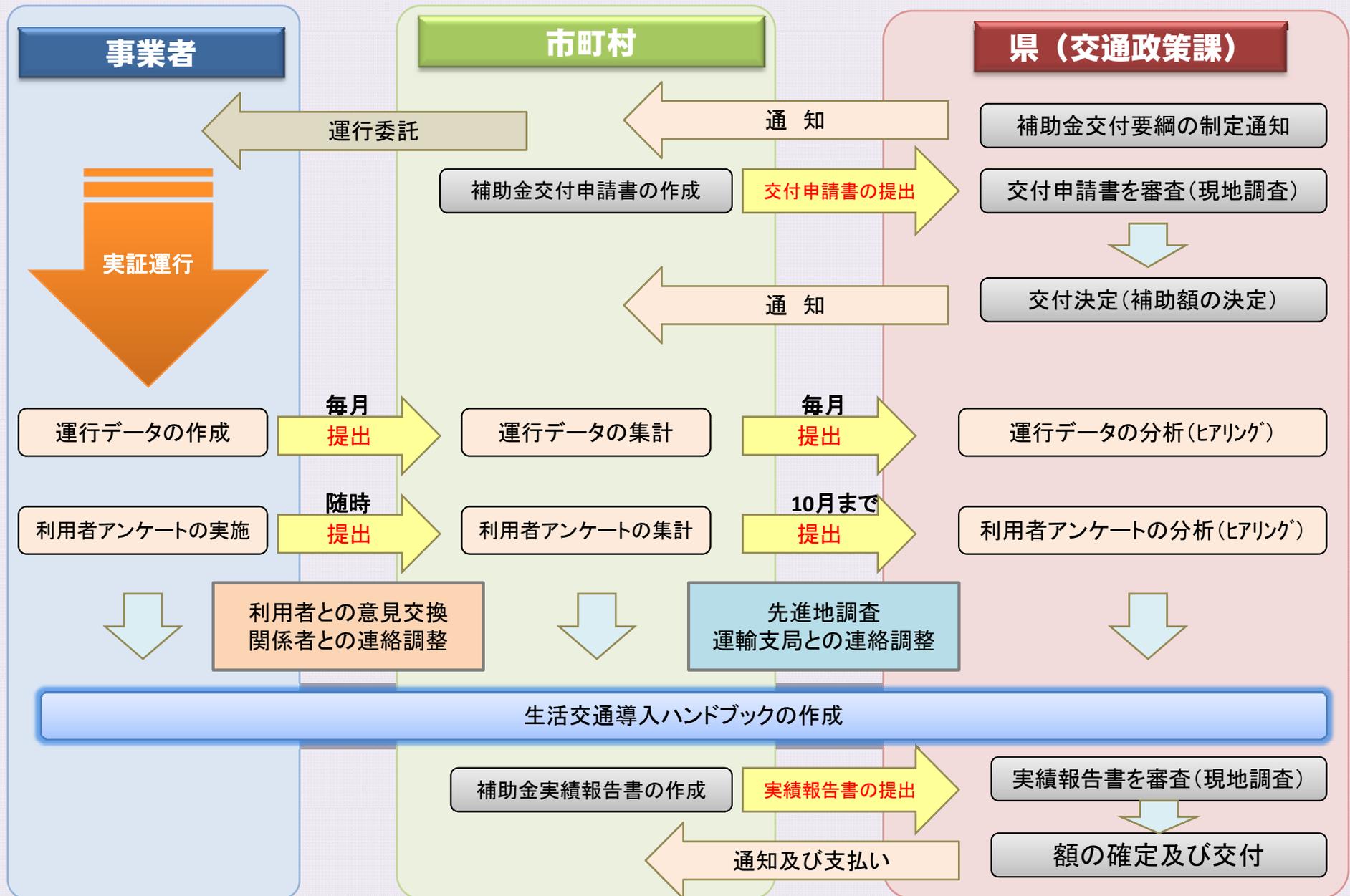
### ○補助対象経費

- ①運行委託費、②初期導入費、③広報費など

### ○県補助金額

市町村負担額の1/3(300万円上限)

# 生活交通導入実証検証事業の流れ



# 生活交通導入実証検証事業の実施

## 新里町デマンドタクシー【桐生市】

### 現状と課題

- ・旧新里町内で路線バス2路線を小型バス2台で運行
- ・5年間で輸送人員が約20%減、市負担額は約13%増
- ・平成22年度実績:輸送人員27,961人、市負担額2,010万円

### 見直し契機と経過

- ・平成22年10月の桐生市事業仕分けで要改善の評価
- ・平成23年11月には、新里町内路線バス運行事業検討委員がデマンドタクシー導入に関する提言を提出
- ・平成23年12月の桐生市地域公共交通会議で了承のうえ、平成24年1月に群馬運輸支局に実証運行を許可申請

### 実証運行計画

- ・タクシー車両2台によるデマンド乗合タクシーを運行
- ・利用登録不要、バス停設置無し、システム導入無し
- ・運行時間:午前8時30分～午後6時
- ・受付時間:利用前日から利用の30分前までに電話予約

### 運行事業者

- ・(株)沼田屋タクシー (桐生市)

### 県補助金

- ・平成24年度補助金 300万円(上限額)

## スクールバスと路線バスの併用【下仁田町】

### 現状と課題

- ・平成16年度から路線バス5路線を運行
- ・5年間で輸送人員が約40%減、町負担額は3カ年同額
- ・平成22年度実績:輸送人員51,738人、町負担額3,146万円

### 見直し契機と経過

- ・平成24年4月より町内4小学校を1校に統合することに伴い、スクールバスの拡充が必須となる
- ・車両増加等を行うスクールバスを路線バスに併用するための検討を平成22年7月から地域公共交通会議で開始
- ・平成24年2月には自家用有償運送の登録を申請

### 実証運行計画

- ・スクールバス:無料、5路線(8台)  
午前6時30分～8時30分と午後3時～6時30分
- ・路線バス:200円均一、5路線(8台+3台(ワンボックス))  
午前8時30分～午後3時及び休日

### 運行事業者

- ・上信ハイヤー(株) に運行管理委託

### 県補助金

- ・平成24年度補助金 300万円(上限額)

# 生活交通導入ハンドブックの作成、市町村乗合バス補助制度の見直し

桐生市及び下仁田町の実証運行データ等に基づき効率的な乗合バスのあり方を検証し、生活交通導入ハンドブックを作成のうえ市町村へ情報提供などを行うとともに、効率的な運行方法への見直しを行う市町村に対する新たな補助制度や市町村乗合バス補助制度の見直しを検討する。

## 生活交通導入ハンドブックの作成

- ・ 地域の需要に応じたより効率的な運行形態（デマンド型交通等）を導入することにより、将来にわたって生活の足（生活交通）を確保するための手引き書を作成

※平成24年度作成

## 主な記載内容

- ・ 地域公共交通の現状と課題
- ・ 新たな公共交通モード
- ・ 乗合バスの見直しポイント
- ・ モデル的な取り組み事例（桐生市、下仁田町）

## 市町村乗合バス補助制度の見直し

- ・ 乗合バスに係る市町村負担への一律補助から、より効率的な運行形態への転換を誘導する政策的補助への見直しを検討

※平成24年度補助要綱改正（平成25年度事業適用）

## 主な見直し検討事項

- ・ 効率的な運行形態への見直しを行う市町村への補助の新設
- ・ 効率的な運行となっていない路線への補助要件の見直し
- ・ 現行県予算額の範囲内での対応